

大会宣言

全国連合小学校長会は、結成以来、我が国の小学校教育の充実・発展のため、真摯に研究と実践を重ね、着実に成果を上げてきた。

第六十五回三重大会から大会主題を「新たな知を拓き人間性豊かな社会を築く日本人の育成を目指す小学校教育の推進」とし、理論・実践両面から研究を進めた。現主題三年目に当たる本大会に向けて、三重大会・埼玉大会の研究成果と課題を引き継ぎ、大会主題の理念をさらに深化・充実・発展すべく鋭意努力し組織的に取り組んできた。

現在、知識基盤社会への新たな進展やグローバル化の進行、世界に類を見ないスピードで進む少子高齢化等、社会が激しく変化し、先を見通すことが難しい時代となっている。そのような中、我が国では、今後の社会の方向性として「自立」「協働」「創造」の三つの理念の実現に向けた生涯学習社会を構築することが求められている。一方、平成三十二年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを一つの目途に、各分野において様々な取組が進められており、教育においては、第二期教育振興基本計画が推進される中、中央教育審議会の道徳に係る教育課程の改善等についての答申、初等中等教育における教育課程の基準についての諮問等、国の教育改革が具体的に進んでいる。

このような国の動向を注視しつつ、東日本大震災の教訓を生かし、「生きる力」を支える知・徳・体の調和のとれた子どもを育成することが学校の責務である。また、変化の激しい社会を生き抜いていくために、その変化を乗り越え、伝統や文化に立脚し、高い志や意欲をもち、他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り拓いていく力を身に付けることが求められている。そのためには、小学校教育において、子どもたち一人一人が夢や希望を抱き、それを実現するための具体的な道筋をもち、人や自然等と関わる中で、共に生きることの大切さを学ばせ、喜びを経験させることで自信をもたせること、そして、高い志と新たな知と和をもって共にたくましく未来を創造しようとする確かな意志と力を育むことが重要である。

私たち校長は、山口大会における副主題「志を高くもち未来へ向かって共にたくましく生きる子どもを育てる学校経営の推進」を基盤に、小学校教育の推進に全力を傾注し、国民の信託に応えようとするものである。

ここに、第六十七回全国連合小学校長会研究協議会山口大会の総意に基づき、次の決意を表明し、その実現を期する。

記

- 一、新たな知を拓き人間性豊かな社会を築く日本人の育成
- 一、志を高くもち未来へ向かって共にたくましく生きる子どもを育てる学校経営の推進
- 一、「生きる力」を育てる創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善
- 一、道徳教育を中核とし、命の尊厳を重視した心の教育の一層の充実
- 一、主体的に判断し行動できる子どもを育成する防災教育の推進
- 一、学校の自主性・自律性の確立と家庭・地域社会との連携・協働による教育活動の充実
- 一、安全で安心できる教育環境づくりの一層の推進
- 一、校長自らの研鑽と教職員の資質能力の向上を図る現職教育の充実

右、宣言する。

平成二十七年十月二十三日

第六十七回全国連合小学校長会研究協議会山口大会